

P C R 検査増は重要

宣言解除判断 尾身会長が指摘

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身茂会長は15日の参院予算委員会で、緊急事態宣言解除の判断には基準のクリアと

同時に、リバウンド（再拡大）が起きない形での解除が重要だとして、変異株のPCR検査拡大など三つポイントを指摘しました。

立憲民主党の福山哲郎幹事長への答弁。

尾身氏は、宣言解除の基準について、「今の（感染拡大の）下げ止まり、あるいは微増の原因を十分に分析しないで判断をしない方がいい」と発言。その上で、①高齢者や若者の会食の増加②クラスターの多様化による感染源不明の「見えにくいクラスター」の存在③変異株拡大への準備の3点が非常に重要なと述べました。

尾身氏は「変異株が既存株に取って代わっ

て主流になるのは時間の問題だ」「諸外国のように感染力が強くなつて感染拡大となる懸念がある」と指摘。現在の変異株のPCR検査について、目標値の5～10%は多くの都道府県でクリアされており、検査目標を「増やすべきだ」と述べました。